

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [思想とは何か](#) ⑤ [共同体について](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

思想とは何か ⑤ 共同体について

共同体には、「血縁共同体」「地域共同体」がありますが、それに限らず『目的・使命共同体』的な色彩を持つ新しい市民社会をつくるためのNPO等の共同体もあります。

この共同体思想は、近代以前から存在していましたが、一般的に閉鎖的、排他的で、同質的、個人の自由を尊重しないもの、という歴史があったので誤解されていますが、これからの共同体思想は、個人の自律と多様性を高め、コミュニケーションをよりよくし、個人の義務や責任を強調している新しいコミュニタリアニズムを目指すものです。

そのような社会システムは自然に創り出せるわけではなく、私達人間の主体的な条件も必要になります。それは常に自分や社会を改革していこうとする努力ですが、それを生み出す方向を決め、その力になるのが「精神」であり「思想・考え方」なのです。

そこで、ここでは、これまでの古い「Democratie Socialism」を「民主社会主義」と呼び、新しい「Democratie Socialism」を「民主的共同体社会システム」と呼ぶことにします。

「Democratie Socialism」の現代化は、アンソニー・ギデンズが「第三の道」の中で論じているように、多くの国や人が東西の冷戦が終了後における新たな試みとしてその思想的な現代化を目指しています。それは従来の「Democratie Socialism」でもなく、また『新自由主義』でもない、という意味で、「第三の道」というのですが、両者の限界を克服しようという新たな理念とそれに基づく政治・社会プログラムです。

コミュニタリアニズムとは

共同体主義は、新しい政治思想として共同体（コミュニティ）に価値をおく考え方である。それはコミュニタリアニズムという名称で様々な展開を見せている。

共同体主義は、現代政治思想の中では、自由主義（リベラリズム）に対抗する理論として登場してきたが、自由主義そのものを否定するものではなく、自由主義の欠陥を是正しながら、また個人の自由を否定する全体主義的な考え方としての有機的考えでもない主張をしてきた。イギリスの社会学者であるジェラード・デランディは「コミュニタリアニズムは、自由主義的、ラディカル、多元主義、公民的共和主義、統制的共同体主義に分かれている」と主張した。この区分からいうと、「民主的共同体社会システム」は、自由主義的共同体主義により近いように思われる。

これからの共同社会は、「自律した個人が、対等の立場で精神的・文化的諸価値交流をさせる場」である。その価値概念は、自由、公平、連帯、共生、エコロジーである。

アンソニー・ギデンズ(1938年～)、イギリスの社会学者、ケンブリッジ大学で博士号を取得後、ロンドンスクール・オブ・エコノミストの学長。これまでの「Democratie Socialism」を「第三の道」として新しい理論展開をしている。イギリスの元首相であるブレア政権のブレーンとして活躍した。「再帰的近代化」という視点に立って、伝統社会やグローバリゼーション等の分析を行っている。

[思想とは何か⑥](#) ⇒

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🗺️ サイトマップ 📄 このサイトについて 🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.